

令和2年9月 定例教育委員会々議録

1 日 時 令和2年9月29日(火) 午後2時00分～

2 定例教育委員会

開催場所 会議室301

3 出席委員の氏名

教育長	山田公一	教育長職務代理者	山崎克弥
委員	中野信男	委員	秦久美子
委員	斎藤純郎	委員	小林恵子

4 説明のため出席した職員

教育次長	宮路一規	主 幹	鈴木華奈子
学校教育課長	太田和行	子育て支援課長	白井健次
社会教育課長	石田進一	統括指導主事	大森 亨

5 本委員会書記

学校教育課 向井康弘 他1名

6 傍聴人

2名

7 会議に付議した事件

諸報告

行事報告及び行事予定

専決処分の報告について

報告第9号 共催・後援の教育長専決報告について

議案

議案第52号 燕市教育委員会会議規則の一部改正について

その他

(1) 吉田中学校の給食に混入した針金状異物について

(2) 令和2年第3回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

- 1) 財産の取得について（学習用コンピュータ機器等購入）
- 2) 令和2年度燕市一般会計補正予算（第8号）
- 3) 燕市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 4) 燕市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 5) 令和2年度燕市一般会計補正予算（第9号）
- 6) 吉田トレーニングセンター大規模改修計画（案）について
- 7) 第2次燕市幼稚園・保育園適正配置実施計画の見直しに向けたサウンディング調査結果の概要について
- 8) 「ぎんなん保育園」の幼保連携型認定こども園移行について
- 9) 一般質問の概要

8 動 議

令和2年8月定例会教育委員会々議録の修正について

<提出者：小林 恵子 委員>

9 閉 会

会議録

別紙のとおり

1 開 会 宣 言 午後 2 時 00 分～

2 諸報告

行事報告及び行事予定

〈各課長が報告〉

○委員（斎藤 純郎）

長善館学習塾は、子どもたちにとって待ちに待った開催だったと思う。参加した子どもたちの様子はどうだったのか。

○統括指導主事（大森 亨）

9 月 26 日が初日で、ドローンでの撮影の計画作りをメインで行った。子どもたちは良い反応だった。

○委員（斎藤 純郎）

子どもたちは楽しみにしていると思うので、その期待に応えて対応して欲しい。
なお、活動に当たっては、新型コロナウイルス感染症対策についてももしっかり取り組んで欲しい。

3 専決処分の報告について

報告第 9 号 共催・後援の教育長専決報告について

4 件の共催・後援申請について

〈No. 1 について石田社会教育課長が説明〉

〈No. 2、3、4 について太田学校教育課長が説明〉

2 件の後援の取り下げについて

〈石田社会教育課長が説明〉

○委員（小林 恵子）

後援申請の取り下げは、定まった様式で文書を提出してもらっているのか。それとも電話での受付なのか。

○社会教育課長（石田 進一）

後援申請の取り下げの様式は、定めておらず、任意の様式で提出してもらって

る。また、主催者から中止の連絡を電話でもらうこともある。

○委員（小林 恵子）

共催・後援をした事業は、事業実施後に報告書をもらうことになっているのか。

○社会教育課長（石田 進一）

共催・後援をしたすべての事業について、報告書を提出してもらっている訳ではない。報告書を提出してもらう事業もあれば、恒例の事業で、報告書を提出してもらわないものもある。

○委員（小林 恵子）

報告書は、基本的に提出してもらう必要はないのか。こちらが想定していない形で事業が実施される可能性もある。

○社会教育課長（石田 進一）

確かに小林委員が言われるように、申請時点の計画と実施した事業内容が違っていることは望ましくないと思う。

○委員（小林 恵子）

共催・後援をした事業の中には、会場や内容等が変更になっていることもあると思う。また一度共催・後援された事業を継続して行う場合、申請者が未来永劫申請を不要と思い申請書を提出しない事もあるし、申請担当者が代わると引継ぎがうまくできず、申請の必要がないと勘違いしている場合もあるので、きちんと申請書と報告書が対になるよう提出していただくことが一番安心だと思う。

○社会教育課長（石田 進一）

今後検討していきたい。

4 議案

議案第 52 号 燕市教育委員会会議規則の一部改正について

〈太田学校教育課長が説明〉

○委員（齋藤 純郎）

このたびのことを踏まえ、このような形で提案をしてもらいたい。

8月定例教育委員会における教育長報告に関して前教育長の発言の真意が伝わらない形での会議録の作成となった。前教育長本人のミスもあったが、事務局の事務的なミスも重なり、署名委員の確認を得ないままホームページに会議録が掲載された。これらの反省を踏まえ、今後提案された対応をとれば、発言者の真意がしっかりと伝わる会議録となるのではないかと思う。私たち教育委員も一人一人がしっかりと会議録を確認することなのでしっかりとチェックをしていきたい。

○委員（小林 恵子）

私は8月定例教育委員会会議録の署名委員であり、自分の記憶やメモをもとに会議録を確認した。自分自身の発言は、その真意を間違いなく確認できるが、他の委員や教育長の発言については、すべての発言の真意を一人の署名委員で確認するのは荷が重い。会議に出席した委員全員で発言の真意が伝わる表現になっているかを確認するのは良いと思う。

○委員（中野 信男）

参考資料の記載の中に「会議の音声を録音し、音声データをもとに会議録を作成する」とあるが、「音声データは、定例教育委員会で会議録の承認を得るまでは消去しない」と明記した方が良い。今回のような場合には音声データがとても役に立つと思う。

○教育次長（宮路 一規）

参考資料としてお示しした会議録作成の運用に関しては中野委員の指摘のとおりに行わせていただきたい。

審議の結果、全員異議なく議案第52号は原案通り議決された。

5 その他

(1) 吉田中学校の給食に混入した針金状異物について

〈太田学校教育課長が説明〉

○委員（山崎 克弥）

給食センターは異物混入や食中毒の危険と常に隣合わせである。異物混入の原因が特定されるまで給食の提供は止めるべきではないのか、また、再発防止策について確認したい。少し話が変わるが、食中毒などで給食センターが使用できない場合の対応策は、どうなっているのか。また新型コロナウイルスに給食センター職員が感染した場合はどのような対応をとることになっているのか。

○学校教育課長（太田 和行）

異物が混入していた沢煮汁を作った際に使用した全ての調理器具について給食センター職員が針金状の欠損箇所等がないか調べたが異常は確認されなかったことから、本日から給食を開始した。また、再発防止のために給食を作る前後で調理器具に欠損箇所がないか今まで以上に注意して確認を行うために、確認回数を増やしたり、複数人での確認をするよう指導を行った。

給食センターが食中毒等で給食中止になった場合は、基本的には弁当対応である。以前雪害で食材が届かなかった時にはレトルトカレーと牛乳の提供を行ったことがある。1日、2日であればこの対応も可能だが食中毒等では2週間給食センターを閉鎖することになるため弁当対応となる。

新型コロナウイルスが発生した場合の対応については、ノロウイルス発生時と同様の対応を考えている。ノロウイルスに職員が感染した場合は、その職員がいつ、そしてどの調理に携わったかを確認し、その人が関わったエリアに一緒にいた職員からは調理を外れてもらい、給食センターの職員全員の検体を調査したりするなど三条保健所からの指導を受けて対応を決めている。

○委員（山崎 克弥）

針金状異物の欠損箇所の目星がついていれば教えてほしい。新型コロナウイルス感染症の場合は、濃厚接触者と判断されるとPCR検査を受けて2週間は休まなければならない。大半の給食センターの職員が勤務できない状況になった場合は、どのように対応するのか。

○学校教育課長（太田 和行）

針金状の金属片がどこで混入したかということは、現在検査機関に検査を依頼中であり、調査結果が出るまではお話しできることはない。

給食センターの職員に新型コロナウイルスの陽性反応が出た場合、その職員の濃

厚接触者を保健所が特定するまでは給食は中止することになる。一人陽性反応が出てから完全におさまるまで給食の提供はしない。

(2) 令和2年第3回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

1) 財産の取得について（学習用コンピュータ機器等購入）

〈太田学校教育課長が説明〉

2) 令和2年度燕市一般会計補正予算（第8号）

〈各課長が説明〉

3) 燕市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

〈白井子育て支援課長が説明〉

4) 燕市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

〈白井子育て支援課長が説明〉

5) 令和2年度燕市一般会計補正予算（第9号）

〈各課長が説明〉

6) 吉田トレーニングセンター大規模改修計画（案）について

〈石田社会教育課長が説明〉

7) 第2次燕市幼稚園・保育園適正配置実施計画の見直しに向けたサウンディング調査結果の概要について

〈白井子育て支援課長が説明〉

8) 「ぎんなん保育園」の幼保連携型認定こども園移行について

〈白井子育て支援課長が説明〉

9) 一般質問の概要

〈宮路教育次長が説明〉

○委員（斎藤 純郎）

財産の取得について、学習用コンピュータとしてクロームブックを選定した理由を伺いたい。

○学校教育課長（太田 和行）

今回クロームブックを選定した理由は、高い所から落としても壊れにくいこと、無償で研修を受けられることに加え、近隣の三条市、見附市、長岡市も同じものを

選定しているため教員の異動があってもスムーズに対応ができるということ等からである。また、県内各市町村代表者で構成されている ICT 教育推進協議会及び専門委員会のクロームブックを推す意見も取り入れ選定させていただいた。

○委員（斎藤 純郎）

新型コロナウイルス感染症対策の関係でインターネットを通じて家庭と学校をつなぎ児童生徒に授業を行わなければならない状況になることも今後考えられるが、現在各家庭でインターネット環境はどのくらい整っているのか、また環境が整っていない家庭に対してどのように対応していくのか伺いたい。

○学校教育課長（太田 和行）

7月に学校教育課で行った家庭のインターネット環境のアンケート結果では、Wi-Fi 環境が整っていない家庭は20%程度であり、そのうち400人程度の方が市からモバイルルーターを借りたいということであった。今回モバイルルーター300台を補正予算で計上した。今後新型コロナウイルス感染症対策で、学校が休業になる場合、全市一斉ではなく地区ごとになることが想定されるため300台で対応できると考えている。

○委員（中野 信男）

Wi-Fi 環境が整っていない家庭へ貸し出す機器が16ページに記載のある「無線映像転送機器」なのか。

○学校教育課長（太田 和行）

「無線映像転送機器」とは、教室で授業を行う際に教師のパソコン画面を電子黒板に転送するための機器である。モバイルルーター等の購入費は、52ページにある「令和2年度燕市一般会計補正予算（第9号）」のICT教育推進事業の消耗品費がそれにあたる。内訳は、モバイルルーター300台とウェブカメラ、スピーカーフォンが20校に1台ずつとなっている。

○委員（中野 信男）

16ページの内容をみると、これがすべての小中学校に配備されるということによいのか。

○学校教育課長（太田 和行）

学習用コンピュータは全児童生徒に一人1台ずつ整備されることになる。無線映像転送機器は各普通教室に1台ずつ配備することになる。

○委員（中野 信男）

「令和2年度燕市一般会計補正予算（第8号）」の電子図書館導入事業の概要を伺う。

○社会教育課長（石田 進一）

利用者は、まずIDとパスワードを図書館から発行してもらい、それをホームページ上の電子図書館に入力すると本を選択できるようになる。電子図書館で本を借りるとタブレットやパソコンのホームページ上で本を読む事ができる。一定期間が経過するとホームページ上で本が返却される仕組みである。

○委員（中野 信男）

今後、電子書籍はどの程度整備していくのか。

○社会教育課長（石田 進一）

今回の補正予算で1,000冊程度購入し、来年度以降も電子書籍を購入していきたいと考えている。

○委員（中野 信男）

第2次燕市幼稚園・保育園適正配置実施計画の見直しに向けたサウンディング調査結果の概要についての「第2次計画」の素案はどう策定されるのか。

○子育て支援課長（白井 健次）

子育て支援課で原案を作成し、企画財政課や用地管財課など庁内横断的に協議を行い、素案を作成する。また外部の委員で構成する燕市子ども・子育て会議にも諮り、意見を求めたいと考えている。

○委員（斎藤 純郎）

幼稚園・保育園適正配置実施計画は、非常に大切に幼児教育の根幹に関わる仕事である。長い期間をかけて準備し、さらにサウンディング調査まで行って慎重

に進めているので、基本的に忠実な取り組みを行っていると感じる。これから素案を作成することになるが、様々な考えを持つ方がいるので、素案についてはできるだけしっかりと練った上で関係者の意見を聞き、できるだけ意に沿うような形で組み立ててほしい。非常に難しいことなので鋭意結集して取り組んでほしい。

ビジョンよしだの大規模改修計画については、長い間の懸案事項で、よくここまでの計画案を作り上げ議会へ提出したと思う。毎年6千万円の赤字を補填していることも市民の皆さんによく伝わることと思う。これまでの施設の在り方に関して抜本的に考え方を改めて健康づくりのためのスポーツ施設に特化した形で再編する計画となっており、素晴らしい案だと思う。ジャグジーや風呂を使用していた方から異論が出るかもしれないが、ご理解いただくように説明に努めてほしい。全体を俯瞰し、今後のことを考えながら財政に負担のない形で多くの方から喜ばれる施設になってほしい。素晴らしい案だと思うので、議会や関係者から色々な意見が出ると思うが真摯に対応し、ご理解いただくように本腰を入れて頑張してほしい。

○教育次長（宮路 一規）

今ほどサウンディング調査について斎藤委員から意見、提案をいただいた。第2次計画については、平成31年3月に庁内で策定したものであり、この時は民間事業者の参入動向は全くわからなかったことから、民間事業者の参入意向を把握するためにサウンディング調査を行った。第2次計画の見直しについてはこの調査結果を盛り込むことによって、より実行性の高い計画になると思う。その点について議員の皆さんと議論を行い、よりよい計画案を作成していきたい。

○委員（小林 恵子）

宮路議員の一般質問の中で、「消毒作業などを支援するスクールサポートスタッフが9月から追加配置されること」とあるが、すでにすべての小中学校に配置されているのか。また他にはどのような業務を行ってもらっているのか。

○主幹（鈴木 華奈子）

9月末現在で8名を配置した。10月からは4名追加し、合計12名となる。市内の20校すべてにスクールサポートスタッフを配置することになっており、募集は継続している。業務内容としては新型コロナウイルス感染症対策の消毒作業がメインで、加えて他のスクールサポートスタッフと同様にプリントの印刷なども業務として行っている。

6 動 議

令和2年8月定例教育委員会々議録の修正について

<提出者：小林 恵子 委員>

○委員（小林 恵子）

8月定例教育委員会々議録の中で2点誤りがあったので、修正をお願いしたい。1点目が、会議録の1ページ「7 会議に付議した事件」の中に「協議題 第1号新規共催・後援申請について」とあるが、これについては、8月の定例教育委員会で行っていないので削っていただきたい。2点目が会議録の5ページ「報告第8号共催・後援の教育長専決報告について」の報告件数が3件となっているが、実際は4件であるので正しい内容に修正を行ってほしい。

○教育長（山田 公一）

今ほど動議があった8月定例教育委員会々議録について、2点修正することを諮りたいと思う。小林委員から動議のあった2点について会議録を修正する事で異議ないか。

<異議なしの声あり>

小林恵子委員から提出された動議は全員異議なく可決された。

7 閉 会 午後3時40分

燕市教育委員会会議規則（平成18年燕市教育委員会規則第2号）第17条第2項の規定により会議録に署名する。

令和 2 年 10 月 30 日

教 育 長 山 田 公 一

教 育 委 員 山 崎 克 洋

教 育 委 員 甲 野 信 男

教 育 委 員 秦 久 美 子

教 育 委 員 斎 藤 純 郎

教 育 委 員 小 林 恵 子

会 議 録 作 成 職 員 竹 田 亮 子